

○事業所名	児童デイあったまある吉野			
○保護者評価実施期間	令和 7 年 2 月 1 日		～	令和 7 年 2 月 28 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数)	13
○従業者評価実施期間	令和 7 年 2 月 1 日		～	令和 7 年 2 月 28 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 3 月 14 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	教育資格を持つ者や、それぞれの分野で専門的な履修をした職員がいて、英語や社会、SST、カードコミュニケーションといった、日常生活に役立つ分野の学習指導をおこなっている。	決められた曜日に決められた学習や運動のプログラムを組んで、長い期間取り組んでいる。	学んだ知識を日常生活で生かせるように、より実践的なチャレンジをしていきたい。（たとえば外出活動で学んだことを生かすシーンを作ってみるなど）
2	室内でも軽運動ができるくらいの広いスペースがある。	定期的に体操やダンスの時間を設け、身体を動かす活動を積極的にこなしている。 ボッチャゲームを講習して実践している。	ボッチャの大会を社内では開催しているが、今後は社外の人たちも参加してもらえる大会を開きたい。 ダンスや楽器演奏などを楽しみながら、地域の公民館の文化祭のステージなどに参加したい。
3	専門的な療育について、個々の特性に合わせて療育プランを考えて実行している。	専門的支援について職員が積極的に学び、個々の児童に向けた療育プランを検討している。 心理担当職員がおり、より専門的な知識を元にした療育を実施している。	心理担当職員による、他の職員への研修を行なっていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員間のミーティングが、その日のうち（終業後）にはできず翌日になってしまうことが多い。 当日中に共有したいことは書面にしてできる限り共有しているが、対応について協議するといったミーティングは翌日になってしまう。	利用者の自宅までの送迎に時間がかかり（距離が遠い、渋滞する）、職員の事業所への帰社が遅い時刻となるため、職員の疲れを溜めないようにとの配慮から、すみやかに退勤させたいとの会社の意向がある。	急を要するものは書面にて残し、その日のうちに（退勤前に）各職員が目を通すようにしている。そこで疑問点があった場合には、電話等で管理者や担当者と詳細について話す。 最も緊急性の高いものは、職員が残業して共有、対応していく。
2	危険な箇所について対策の検討を重ねているが、予期せぬ事故について、もっと考えていかなければならない。	安全な場所だと信用してしまっているところも再確認し、危険なところがないか調べる必要がある。	段差だけでなく、滑りやすい場所、指を挟みやすい場所、危険になりそうな物の配置（格納含め）など、細かく注意深く検討して安全確保に務めたい。
3	周辺の住民や保育園・幼稚園など、地域の方々と触れ合うことができていない。 保護者同士が知り合ったり交流する場が設けられていない。	以前は近隣の保育園・幼稚園と交流があったり、保護者の茶話会を開催していたが、コロナウィルスの流行以降、感染症に関する危機意識が高くなり、交流する計画が立てにくくなってしまった。	感染症には十分に留意するルールを設けて、危険のない範囲で交流する活動を行なっていきたい。